

2024年2月22日
株式会社イオン銀行

イオン銀行従業員が、都立品川特別支援学校と共同で「節分レクリエーション」を開催しました

株式会社イオン銀行（東京都千代田区、代表取締役社長：小林 裕明、以下、当社）は、東京都立品川特別支援学校（東京都品川区、校長：松井 栄人、以下、都立品川特別支援学校）にて節分レクリエーションを共催し、当社従業員がサポートスタッフとして参加いたしました。



当社は、イオングループの一員として、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、企業活動を通じて地域・社会課題の解決に貢献し、地域のお客さまとともに「持続可能な社会の実現」を目指しております。

このたび、東京都品川区内の知的障害特別支援学校である都立品川特別支援学校と共同で、同校に通う児童と当社従業員の交流を深める場として、節分レクリエーションを開催しました。本活動は、イオン株式会社が運営する、社会福祉基金※を活用し、実施したものです。

※ 全国の障がい者の方々の社会活動への参加促進、障がい者福祉の向上を図ることを目的に、1977年に設立。イオングループ従業員労使1名あたり毎月100円を積み立て、従業員による障がい者施設へのボランティア活動やパラスポーツ推進を柱とした社会福祉活動を行うものです。

【開催の背景】

都立品川特別支援学校は、『児童・生徒一人一人の人権を尊重するとともに、児童・生徒一人一人の障害の状況、実態に合わせた教育を推進することで、個性や豊かな人間性、社会性を育み、自立し社会参加できる児童・生徒を育成していくこと』を教育目標としています。

当社はこの考えに共感するとともに、かねてより当社従業員から寄せられていた「地域社会と交流し、少しでも貢献したい」とのニーズに応え、実施に至りました。

【当日の様子】

当日は、小学1年生から6年生の計157名の児童の皆さんにご参加いただきました。当社従業員が鬼に扮し、豆まきをした後、文具品と、当社従業員が所属するIBUKI FARMにて栽培するハーブで製作したサシェ（香り袋）を贈呈いたしました。児童の皆さんには、鬼役の従業員や、当社のオリジナルキャラクター「ふくもも」とのふれあいを楽しんでいただきました。

参加した当社従業員からは、「先生ではない鬼役に泣く生徒もいたが、それでも果敢に紅白玉をぶつけ、最後笑顔になる姿に胸を打たれた」「相互に個性を尊重し支え合える共生社会を目指し、イオン銀行店舗でできることを改めて考えたい」等の感想があり、交流により、新たな気づきを得る機会に繋がりました。

当社は今後も、企業活動を通じ、社会課題の解決に資する活動へ継続して取り組むとともに、全国の従業員が積極的に参画する機会を増やし、全社一体となって持続可能な社会の実現を目指してまいります。

<過去の実施例>

・地域社会との交流

一般社団法人江東ウィズが運営する障がい児通所支援施設『さくらんぼ子ども教室』が主催する、「第32回江東ウィズ ふれあいまつり」（2023年11月28日、江東区猿江町公園）において支援活動を実施しました。当社従業員がボランティア参加し、商品の提供販売などの支援いたしました。

当日は、さくらんぼ子ども教室に通所する児童を中心に、保護者や、町内会、地域の作業所や地元企業からのボランティアが協力し、バザーや飲食を楽しみながら、交流の場となりました。



以上